

対象国の条件:

研修コース番号:201984840-J002

案件番号:201984840

主分野課題:教育/初等教育

副分野課題:

使用言語:英語

**案件概要**

教育の普及から学習の成果へと途上国における教育開発の重点が移行しているが、理数科における生徒の学力が国際的水準に比較して低いことが多くの途上国において指摘されている。その一因として、初等前期レベルにおける基礎計算能力が十分に育成されていないことが考えられている。  
本研修では、子供が、初等算数レベルにおける基礎計算力を習得できるよう、カリキュラム、教科書、授業実践、授業外における機会、効果的な教材等について学ぶ。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

本研修では、日本における初等レベルでの基礎計算能力向上の為の取組について学ぶ。現場レベルに精通する中央・地方レベルの中核人材（研修講師・視学官）を本邦での研修対象とし、参加各国における初等算数の計算力向上策を検討し、具体的な取り組みに結びつけることを期待する。

**【成果】**

成果1：基礎計算力の獲得に必要となる、数の概念、数の合成・分解、集合概念、10の合成・分解に基づいた加法・減法などについて、理論的に理解する。

成果2：成果1に関する日本の学校現場における実践視察を通じ、具体的な指導方法に関する理解を深め、各参加国における初等算数、特に基礎計算力に関する課題を認識する。

成果3：上記の成果1,2を踏まえ、実現可能な初等算数における計算力向上の取り組みを検討し、各参加国での活動計画（施策）案を策定する。

**【対象組織】**

教育省、地方教育事務局、教員養成校等

**【対象人材】**

想定する対象人材は以下。いずれも初等レベルにおける算数指導の経験や知見を持つ人材とする。

- ・教育省内技官
- ・初等算数カリキュラム担当官
- ・地方教育局指導主事
- ・教員養成校担当教官

なお、本研修の招聘国については、1-2年次は希望対象国からの招聘とし、3年目は1-2年次の活動内容に鑑みさらに絞り込んだ招聘とする。

**内 容**

- (成果1)
- ・カンントリーレポート、自国の課題分析（発表・協議）
  - ・日本の教育制度（講義・協議）
  - ・カリキュラム（講義・協議）
  - ・数の概念形成、数の合成と分解（講義）
  - ・集合の概念（講義）
  - ・10の合成と分解による加法、減法（講義）

- (成果2)
- ・学校での実践の視察
  - ・10の合成と分解に関する授業実践
  - ・上記合成分解を利用した加法、減法の授業実践

- (成果3)
- ・成果1、2及び自国の実情を踏まえ、実現可能な取り組みの検討（協議）
  - ・活動計画（施策）案の策定（協議・発表）

**本邦研修期間**

2020/1～2020/3

**担当課題部**

人間開発部

**所管国内機関**

JICA関西（業務二）

**関係省庁**

**実施年度**

2019～2021

**主要協力機関**

調整中

**特記事項  
及び  
ホームページ**